

"COME HAVE FUN~"

コンセプト

相互に作用し合う動く関係性の空間

点・線・面の空間

ゆらゆら装置

空間とは何か？

ほとんどの場合、人々は空間に対する理解は常に曖昧な状態にあります。私は、空間の存在は点・線・面のように、一定の論理性を持つものだと考えます。

点・線・面は、デザインにおいて最も一般的な基本手法であり、さまざまな分野で広く活用されています。同様に、空間の構成も点・線・面の組み合わせによって探求・実践することができますかもしれないから。本研究では、インスタレーションアートの実践を通じて、空間の形成プロセスを考察します。装置自体は「点」としてさまざまな場所に配置され、レーザーペンのビームは空間に伸びて「線」を形成し、最終的に鏡の反射を通じて光が絡み合っ「面」の特徴を持つ空間が構築されます。

この装置のインタラクティブな体験を通じて、参加者はゲーム中の空間の生成と変化を直感的に認識することができ、空間構成に対する理解を深めることができます。

「ゆらゆら」のデザインは、張力によるサスペンション装置です。その制作過程では、装置のバランスを保ち、立ち上がることが簡単ではありません。この挑戦は、人々とその周囲の物事との関係、つまり複雑かつ興味深い関係を人々に思い出さざるを得ませんでした。

この場所を展示空間が選んだ理由は、本装置を通じて人と空間とのバランスのとれた関係性を探りたいと思ったからです。この芝生は、しばしば人々に「忘れられた」空間として扱われていると思います。もしも、そこに装置を設置することで、人々の関心を引き付け、この「忘れられた」空間に気づきを促し、周囲の環境を再認識し、人と空間の相互作用について考えるきっかけとなることを期待しています。